

目次

1. SPSS, KUSPSSからSPSS/Xへの移行について	1
2. 年末年始のサービス業務について	2
3. サービス時間の延長について(センター外からの利用)	2
4. 大学間ネットワークサービスの停止について	3
5. センターニュースNo. 405の訂正について	3

### 1. SPSS, KUSPSSからSPSS/Xへの移行について

センターでは、昨年11月に SPSS/X を運用開始してから、従来のSPSS及びKUSPSSとの並行運用を続けていますが、SPSS及びKUSPSSは、平成2年3月31日をもって運用を停止します。SPSS及びKUSPSSのユーザの方は、できるだけ早い時期に SPSS/X へ移行して下さい。

以下に参考文献を示します。

#### [参考文献]

1. 三宅, 山本: 「新版SPSS/X I 基礎編」, 東洋経済新報社, 1986.
2. 「SPSS/X USER'S GUIDE 2nd Edition」, SPSS Inc., 1986.
3. 山本: 「SPSS/Xでの数量化理論解析」, 九州大学大型計算機センター広報, Vol. 22, No. 6, 1989.
4. 浅野: 「SPSSからSPSS/Xに移行するために」, 九州大学大型計算機センター広報, Vol. 22, No. 6, 1989.
5. 浅野: 「SPSS/Xによるクラスター分析とQモード因子分析」, 九州大学大型計算機センター広報, Vol. 22, No. 6, 1989.
6. 小野寺ほか: 「汎用統計パッケージSPSS/Xのサブプログラム」, 九州大学大型計算機センター広報, Vol. 22, No. 6, 1989.

7. 佐藤：「統計パッケージSPSS/X利用法入門」，東北大学大型計算機センター広報，Vol.22, No.1, 1989, 60-83.
8. 佐藤：「統計パッケージSPSS/Xのファイル操作・変容コマンド」，東北大学大型計算機センター広報，Vol.22, No.1, 1989, 84-98.
9. 和田：「SPSS/Xの利用について」，愛媛大学情報処理センター広報，第7号，1989.10, 22-34.

(ライブラリ室 電(内)2508)

## 2. 年末年始のサービス業務について

年末年始のサービス業務を，下記により行いますのでお知らせします。

### 1) サービス業務

<年末>

12月26日(火)までで終了

ただし，当日まで入力されたジョブで翌日始業時まで処理が終了しないものはすべてキャンセルしますのでご注意ください。処理済みのものについては，12月27日(水)に全部を強制出力し返却棚，又は連絡所へ返却します。

<年始>

平成2年1月6日(土)から開始

### 2) プログラム相談

<年末>

12月26日(火)までで終了

<年始>

平成2年1月8日(月)から開始

(第一業務掛 電(内)2517)

## 3. サービス時間の延長について(センター外からの利用)

計算需要の増加にともない，センター外から利用する，TSS, RJEのサービス時間を延長致します。

期間・時間については下記のとおりです。

記

期 間	平成元年12月7日(木)～12月26日(火) 平成2年 1月6日(土)～ 2月28日(水)
時 間	午前0時で終了を午前2時まで延長 ただし，UTSは午前0時までとします。 また，土曜日は定刻17時までです。

(第一業務掛 電(内)2517)

#### 4. 大学間ネットワークサービスの停止について

学術情報ネットワークの拡充作業の為、下記の期間大学間ネットワークによる他センターの利用ができませんのでお知らせ致します。

記

期 間 平成元年12月25日(月)～12月26日(火)

(第一業務掛 電(内)2517)

#### 5. センターニュース№.405の訂正について

「1. UTS端末からMSPへのフルスクリーン端末としてのログオン機能のテスト運用について」の中に一部誤りがありましたので、訂正願います。

頁	行	誤	正
5	下6	FIMPORT A. TEXT USING(CV 0)	FIMPORT A. TEXT USING(C 0)